

発行日: 2025-10-01

バージョン 1

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	NETosis Assay Kit
製品番号	41855
キット構成要素	51640: PMA (1 mM) Assay Reagent 60484: S7 Nuclease Assay Reagent 79598: EDTA (500 mM) Assay Reagent 34136: NET Assay Neutrophil Elastase Substrate 42211: Human Neutrophil Elastase Assay Reagent 50855: Bovine Serum Albumin Assay Reagent 60648: Calcium Chloride (1 M) Assay Reagent 75820: 96-Well Solid Plate (Colorimetric Assay)

### 安全データシートの供給者の詳細 製造者

Cell Signaling Technology  
3 Trask Lane  
Danvers, MA 01923  
United States  
電話 +1 978 867 2300  
ファックス +1 978 867 2400  
メールアドレス

### 供給者

CSTジャパン株式会社  
東京都千代田区内神田1-6-10  
笠原ビルディング10階 〒101-0047  
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

意図される使用 ライフサイエンス研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

引火性液体	区分 4
急性毒性(経口)	区分 4
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2
区分 2 呼吸器	

### GHSラベル要素



注意喚起語  
警告

### 危険有害性情報

H226 - 引火性液体及び蒸気  
H318 - 重篤な眼の損傷

H371 - 臓器の障害のおそれ

H302 - 飲み込むと有害

**注意書き****安全対策**

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。取扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

**応急措置**

ばく露した場合、又は気分が悪いとき：医師に連絡すること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。

火災の場合：消火するために粉末消火剤、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)、水噴霧又は通常の泡消火剤を使用すること。

**保管**

施設して保管すること。

**廃棄**

内容物、容器を国際、国、都道府県、及び市町村の規則に従って廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

キット 構成要素 51640: PMA (1 mM) Assay Reagent

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ジメチルスルホキシド	95 - <100	(2)-1553	(2)-1553	67-68-5

キット 構成要素 60484: S7 Nuclease Assay Reagent

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 79598: EDTA (500 mM) Assay Reagent

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
四ナトリウム=エチレンジアミンテトラアセタート, 水和物	15 - <20	-	-	194491-31-1

キット 構成要素 34136: NET Assay Neutrophil Elastase Substrate

化学名又は一般名	重量%	化審法番号	安衛法番号	CAS番号
ジメチルスルホキシド	95 - <100	(2)-1553	(2)-1553	67-68-5

キット 構成要素 42211: Human Neutrophil Elastase Assay Reagent

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 50855: Bovine Serum Albumin Assay Reagent

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 60648: Calcium Chloride (1 M) Assay Reagent

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 75820: 96-Well Solid Plate (Colorimetric Assay)

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

**4. 応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気のある場所に移動する。症状が続く場合には、医師に連絡すること。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。

皮膚に付着した場合	直ちに少なくとも15分間水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。刺激が続くときは医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口内を洗浄してから十分な量の水を与えます。意識のない者には、何も口から与えてはならない。医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 医師に対する特別な注意事項	過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。浮遊微粒子や蒸気は、呼吸気道を極度に刺激します。 症状に応じて治療すること

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。 水噴霧 二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ) 乾燥粉末 耐アルコール泡消火剤
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。
特有の危険有害性	製品は温度が引火点を超えると着火して燃焼するおそれがある。熱分解すると刺激性及び有毒なガス及び蒸気を放出する可能性がある。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素
特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

緊急時対応要員以外の人用	人員を安全な区域に避難させること。人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。すべての着火源を排除すること。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。保護具を使用する。取扱い後はよく洗うこと。
緊急対応を行う者のための保護具	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	詳細情報については項目12を参照。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	液体漏出物を砂、土又はその他の不燃性の吸着材料で覆うこと。回収して適切に表示された容器に移すこと。汚染された表面を十分に浄化すること。
二次災害の防止策	汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項	産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと。保護具を着用する。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。汚染された衣服は洗浄してから再使用すること。裸火、高温面および着火源から遠ざけること。蒸気やスプレー煙霧を吸い込まない。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。十分換気されているか確認すること。取扱い後は
----------	--

よく洗うこと。

## 保管

**保管条件** 容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

<b>設備対策</b>	シャワー 洗眼場 換気システム
<b>許容濃度</b>	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく限界が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
<b>生物学的許容値</b>	この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値が設定された危険有害物質を一切含んでいない。
<b>環境ばく露防止</b>	情報なし
<b>保護具</b>	
<b>呼吸用保護具</b>	【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。
<b>手の保護具</b>	不浸透性手袋
<b>眼及び又は顔面の保護具</b>	側板付き保護眼鏡
<b>皮膚及び身体の保護具</b>	適切な保護衣を着用すること

## 9. 物理的及び化学的性質

### 物理的及び化学的性質に関する情報

<b>キット 構成要素</b>	<b>51640: PMA (1 mM) Assay Reagent</b>
物理状態	液体
外観	無色透明
色	無色
臭い	無臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	189 °C / 372.2 °F
融点/凝固点	18.45 °C / 65.2 °F
引火点	89 °C
爆発下限界	1.8%
爆発上限界	63%
<b>キット 構成要素</b>	<b>60484: S7 Nuclease Assay Reagent</b>
物理状態	液体
色	無色
<b>キット 構成要素</b>	<b>79598: EDTA (500 mM) Assay Reagent</b>
物理状態	液体
色	無色
<b>キット 構成要素</b>	<b>34136: NET Assay Neutrophil Elastase Substrate</b>
物理状態	液体
色	無色
沸点又は初留点及び沸点範囲	189 °C / 372.2 °F
融点/凝固点	18.45 °C / 65.2 °F
引火点	89 °C

爆発下限界	1.8%
爆発上限界	63%
キット構成要素 物理状態 色	<b>42211: Human Neutrophil Elastase Assay Reagent</b> 液体 無色
キット構成要素 物理状態 色	<b>60648: Calcium Chloride (1 M) Assay Reagent</b> 液体 無色
キット構成要素 外観 色	<b>50855: Bovine Serum Albumin Assay Reagent</b> 粉末 白色～明黄色
キット構成要素 外観	<b>75820: 96-Well Solid Plate (Colorimetric Assay)</b> Microwell Plate

## 10: 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常の条件下で安定
避けるべき条件	裸火、高温面および着火源から遠ざけること
混雑危険生成物	酸塩化物、ハロゲン化リン、強酸、アルカリ、強酸化剤、強力な還元剤
危険有害性分解生成物	二酸化炭素、硫黄酸化物

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 成分情報

化学名又は一般名	経口LD50	経皮LD50	吸入 LC50
ジメチルスルホキシド	= 28300 mg/kg (Rat)	= 40000 mg/kg (Rat)	> 5.33 mg/L (Rat) 4 h
四ナトリウム=エチレンジアミンテトラアセテート、水和物	1,260 mg/kg (rat)	-	-

**症状** 過剰暴露の症状として、頭痛、めまい、疲労、吐き気および嘔吐が生じる場合がある。浮遊微粒子や蒸気は、呼吸気道を極度に刺激します。

### 製品情報

#### 経口

キット構成要素  
経口 **79598: EDTA (500 mM) Assay Reagent**  
飲み込むと有害のおそれ

#### 吸入

キット構成要素  
吸入 **34136: NET Assay Neutrophil Elastase Substrate**  
気道刺激を引き起こすおそれがある

キット構成要素 **51640: PMA (1 mM) Assay Reagent**



化学名又は一般名 ジメチルスルホキサイド	分配係数 -1.35
-------------------------	---------------

移動性 情報なし

他の有害影響 情報なし

### 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

### 14. 輸送上の注意

IMDG 規制対象外

ADR 規制対象外

IATA 規制対象外

日本 規制対象外

### 15. 適用法令

該当製品に特有な安全、健康及び環境に関する規制

#### 国内規制

#### 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

化学名又は一般名	含有率 %	区分	管理番号
四ナトリウム＝エチレンジアミンテ ラアセタート，水和物 194491-31-1	15 - <20	第1種指定化学物質	1-080

#### 労働安全衛生法

化学名又は一般名	区分	含有率 %
ジメチルスルホキサイド 67-68-5	安衛法表示対象物質 (令和8年 4月1日以降) / 皮膚等障害化学物質等及び特別規則に 基づく不浸透性の保護具等の使用義務 物質	95 - <100

### 16. その他の情報

発行日: 2025-10-01

改訂記録 SDSの余白にある記号(\*)は、その行が改訂されたことを示す

**安全データシートで使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例**

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA:	時間加重平均値	Ceiling:	最大限值:
*	皮膚兆候	+	感作物質

**本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源**

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
米国環境保護庁ChemViewデータベース  
欧州化学品局  
欧州食品安全機関(EFSA)  
米国環境保護庁  
急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL)  
米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
米国環境保護庁高生産量化学物質  
フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
危険有害性物質データベース  
国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
日本政府によるGHS分類  
オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
NIOSH(米国労働安全衛生研究所)  
米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)  
米国国家毒性プログラム(NTP)  
ニュージーランド化学物質分類・情報データベース(CCID)  
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
RTECS (化学物質毒性データ総覧)  
世界保健機構

**免責事項**

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終